

教育目標: ○ 自ら学び、よく考える ○ 進んで協力し、他人を思いやる ○ 心身ともにたくましく、最後までやりぬく

めざす学校像: ○ 生徒が主体的に学び活動する学校 ○ 教職員が協働して教育活動を創造していく学校 ○ 保護者や地域社会から信頼される学校

めざす児童・生徒像: ○ 自分の夢に向かって意欲的に学ぶ生徒 ○ 他人のために労を惜しまない心豊かな生徒 ○ 強い意志と自信をもち、たくましく生きる生徒

めざす教師像: ○ 教育に対する熱意と使命感に富む教師 ○ 一人一人の良さや可能性を引き出せる教師 ○ 研修意欲に富み互いを高め合う教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	今後の課題	学校関係者評価記入欄
笑顔と誇り	互いに認め合い、高め合い、学びあうことで、思いやりと豊かな心を育み、ひとり一人が居場所と感じ、安心して成長できる集団を育成する。	自己肯定感を育て、居心地感を高めることで以下の改善を図る。 ①いじめ、不登校 ②多様性を認め合える集団作り ③「分三魂(誇り・団結・克服)」 ④心身の健康	教育相談機能の強化と、一人一人の自尊感情を高めるコンプリメントを推進する。	3	4	1	2	○自尊感情を高める取り組みの推進。 ○教育相談機能の充実と外部連携。 ○コンプリメントの一層の推進。	自尊感情を高めるコンプリメントは引き続き継続を図っていただきたい。
			面談や毎学期のアセスメントを通して困り感に寄り添い、丁寧に対応する。	-	4	4	4	○生徒に寄り添う学級経営の一層の推進。 ○いじめ、不登校の予防と対応。 ○困り感への早期対応。	不登校、いじめの背景には、その生徒が12年～15年生きてきた歴史、家庭の事情、心の病気などがからみ、3年間という短い時間で解決することは難しいことですが、先生方が日々努力され、成果も出ていることがわかります。先生の一言で、生徒も気持ちも変わると思います。意識をもって取り組むことを継続されるように思います。
			学校行事や生徒会活動、部活動を充実させ、異年齢交流や多様性を認める活動を推進する。	-	3	4	4	○全校での学校行事の充実。 ○生徒会活動活性化への指導。 ○心身の健康のための取り組み。	コロナ禍のさなか、感染対策にも配慮し、修学旅行等、学校行事を全校行事として開催できたことは、教育活動として大変望ましいことである。
確かで豊かな学力	分かる授業、興味・関心のわく授業の実現に努め、確かで豊かな学力の定着を図る。	基礎学力の充実に加え、協働的な学びやICTを活用した学びにより、主体的な学習者を育成する。	ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりと補習教室等での個に応じた指導を行う。	3	4	4	4	○丁寧な学習指導の継続。 ○ユニバーサルデザイン化の推進。 ○個に応じた学習援助。	学校公開や運営協議会の授業参観の際も、どの学年もクラスも静かで集中している様子でした。タブレットを使ったり、先生方も授業を工夫しておられるのがよくわかりました。コロナ禍で制限の多い年でしたが、今後はより校外型の授業が増えるといいなと思いました。
			ICTや言語活動を活用し、思考力・判断力・表現力の伸長と知識だけでない学力を育成する。	3	4	4	4	○ICTによる個別最適な学びの推進。 ○協働的な学びの推進。 ○主体的学習者育成を目指した授業改善。	コロナ蔓延により、タブレット端末の導入が加速化した結果、ICTの活用が進んだ訳である。この事態に対応すべく、教材のICT化に努力された教員の苦勞を思うと、頭の下がる思いがする。今後は、タブレット端末を活用した表現、発信能力を高めること、ドリルや演習などの反復する学習への活用など、生徒個々人の習熟度の管理ソフトの活用を図ると、教員の稼働が削減できるかもしれない。
未来へ開かれた教育活動	地域や多様な教育資源を活用し、生徒の社会貢献や奉仕への意識を高める。	自校でのESD(SDGs)推進を行い、校区へも広げる。保護者や外部人材を活用した多様な教育活動を工夫し、主体的に他者や地域・社会へ貢献する態度を育成する。	防災を中心とした地域連携を推進し、生徒の社会貢献への意識を高める。	-	3	-	3	○三中地区防災会との具体的連携 ○地域活動への参加促進 ○安全教育の一層の充実	地域防災会と連携したり、ウォールアートを描いたり、国分寺市の生徒として地元への関心や愛着を持つことができるような交流をこれからももっと増やしていただければと思います。
			外部人材との協働や、異文化理解を深める取り組みを実施する。	-	3	-	3	○職場体験学習の実施 ○継続的な取り組みによる意識向上	職業講話、留学生との交流等を実施し、機会を設けたことはわかりかしたが、主体的に他者や地域・社会へ貢献する態度が育成されたかの検証をしていかないと目標が達成されたかどうかは不明だと思う。
			学校だより等やブログでの積極的な情報発信を行う。	-	4	-	4	○ブログの一層の活用 ○各種たよりの充実 ○オンラインツールの活用	学校だより等やブログでの積極的な情報発信は、保護者への啓蒙や三中の学校教育の実態の理解を深め、年次の学校教育目標の具現化に大きく良い効果を及ぼしているものである。